

利根川・江戸川ブロック公述書

開催場所：佐倉市中央公民館 大ホール

開催日時：平成19年3月1日

届出者の住所 千葉県 印旛郡 印旛村
 年代 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代 60歳以上
 性別 男性・女性

意見の概要

公述人 1
 利根江戸-9

- 1 印旛沼の生態系や景観保全に配慮した整備計画の策定を望む
 沼の動植物へ悪影響が出ないように、入念な事前調査を実施願いたい。また、北印旛沼では成田新高速鉄道や北千葉道路の整備事業も進められており、観光資源としての活用を図るためにも景観に配慮した計画を望みます。
- 2 他の事業と整合性を持った整備計画を望む
 地元土地改良区の役員の立場から申し上げますが、印旛沼では農林水産省による印旛沼2期事業や水資源機構による施設の緊急改築事業も計画されています。これらの事業には地元農家や自治体からの経費負担が多いことから、経費が無駄になったり事業に手戻りが生じることが無いよう連携を密にするとともに整合性も図っていただきたい。
- 3 事業実施に伴う影響等について精査を望む
 沼周辺の自治体では今の状態でも台風や大雨時に冠水対策で苦慮しているところもあるので、事業により新たな災害が発生しないよう安全対策を最優先した計画策定を望みます。

以下の部分について公表します

届出者の住所 千葉県 都・県 佐倉 市・区・町・村
 年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上
 性別 (○で囲んで下さい) 男性・女性

公述人 2
 利根江戸-45

意見の概要

1	今回の河川整備計画では、印旛沼に調節容量を持たせ利根川本線の治水に利用する計画があるようですが、現在まで簡単な口頭説明を受けただけでは、当事者として不満であり、強い懸念を感じています。また、印旛沼周辺で行われる土地改良事業に悪影響を及ぼすことのないよう配慮してもらいたい。
2	印旛沼の水質は、地域の努力により改善方向にありますが、今度の河川整備計画では更に改善する策を考えてもらいたい。
3	印旛沼開発事業以降、農水・工水・上水のあいだでお互い協調して用水している。このような良い関係を壊すことのないよう強く希望する。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

都・県

市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人3
利根江戸-19

意見の概要

印旛沼を眼下に臨み、おいしい地下水を飲めることを次の世代に引き継ぎたいと考えている流域住民として意見を述べる。ハツ場ダムについては、半世紀以上も前の計画であり治水、利水面にありすぎて必要性のないことは、データが示す様々な社会状況から明らかである。次に印旛沼を侵した新利根川放水路計画については、利根川下流部の洪水10500m³/秒のうち、10000m³/秒を印旛沼を經由して東京湾に落とすというものである。印旛沼は自流域の洪水処理で工費不十分で流入河川沿いの民家では、度々浸水被害が起きている。この計画実現には、印旛沼の大規模堆削、放水路の削制が必要だが、地域の厂史も含めた状況、環境面に及ぼす影響、事業費等の検証が示されていない。必要性のない事業に多額の税金を注ぎ、次の世代に負の遺産をこれ以上残すことは絶対に許されない。

※ 楷書楷書まで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所

千葉

都・県

酒々井

市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人4
利根江戸-10

意見の概要

この基本計画原案策定において、中央排水路に関して、下記事項について検討され、計画に反映していったいただきたい。

① 印旛沼の自然環境(原風景)の復元・再生・創出

② 中川および流入河川の治水対策

③ 植物(葦原)などによる水質浄化対策

以上。

※ 楷書楷書まで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所 都・県 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい) 男性・女性

公述人5
利根江戸-39

意見の概要

上水水源としては、全国ワーストワンの印旛沼は、毎年水温上昇とともに毒性の強いアオコ(藍藻類)の異常発生で、生態系は破壊され、多くの水生生物は絶滅の危機に立たされています。

現在の印旛沼は、汚染汚濁に犯され、印旛沼流域の千葉県民140万人の飲料水に利用されており、健康・衛生問題が問われていて、早急な水質改善が最重要課題になっています。循環型社会を目指す「みどりの変革」の趣旨どおり、「とりもどそう!ふるさとの自然」環境づくりとして、印旛沼の再生をしてゆくことを目指して、環境に優しい生き物を使った水質浄化に取り組んでいるものとしては、水質改善されていない現状の印旛沼に利根川導水は、新川・花見川を通じて東京湾に汚染されている印旛沼の水を流す事となり、千葉県の掲げる千葉戦略「生物多様性」を無視した計画と思われ、環境破壊を東京湾に引き起こす事になりかねません。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所 千葉県千葉市

年代 60歳以上

性別 男性

公述人6
利根江戸-4

意見の概要

本計画は千葉県の行政および住民の生活にとって重要な問題であるにもかかわらず、計画は行政に、また住民にほとんど広報されずにきている。本公聴会における意見の集約で決定に移行することなく。自治体単位の議会での審議、住民の意見聴取を行い、これを河川単位の合同審議を行って集約することが必要である。

問題は次ぎのとおりである。①千葉県内の治水が具体的にどのように改善されるのか。②利水について、人口が減少する中で八ッ場ダムを建設し、利水を増やすことの必要性。地下水の利用を否定する理由。③環境については、河川および印旛沼などの環境の改善に取り組んでいる自治体や住民の施策を考慮していないこと理由。④財政については、八ッ場ダム建設関連に対しての千葉県の支出に加え、利水の増加を見込むための導水路や浄水場などの関連設備額。利根川放水路計画の必要経費。これら経費の投入に対する償還計画と水道利用料金との関連。